

編集後記

5月、久しぶりに水郡線で北上する。水戸駅を発った3両編成のキハ車は、行楽のお客や帰省のお客、買い物帰りのお客をたくさん乗せて水の張られた田んぼの中を進む。そこら辺で田植えのトラクターが時まさに今、とばかりに活躍する光景はいつもの通り。山間のいびつな形をした段々田んぼにも水が張られ、青い空を映す。日本は本当に水の邦だと思う。WTO 農業分野での交渉先行き困難も、減反政策も、DNA 鑑定による偽ブランド米摘発事件も、ひとまず棚に上げて車窓に流れる眺めを楽しんだ。

翌日、裏磐梯桧原湖に遊ぶ。湖の周囲に点在する山桜が凜と咲く。ケヤキやブナの若葉また若葉。濃い緑、生まれたばかりの黄緑、先がうっすらと赤い緑、水分をたっぷり含んだ緑、上を向いたカラマツの緑。森が水を吸い上げて、一段盛り上がった山腹、今年もまた二酸化炭素を吸い取って、酸素を放出しようと準備中。

帰りの新幹線は例年通りの大混雑、でも外出を制限されている国もある。治安回復がなかなか進まない国もある。例年通りの何とありがたきこと、シドキのおひたしがうまかった。

(2003年5月 古井)